

## 埼玉県の大学を知ろう！

～シリーズ：大学について知ろう（その6）～

映画「翔んで埼玉」が大ヒットし、それまで薄々気がついてきた埼玉県民の東京に対するコンプレックスを“本当だったんだ！”と実感しましたが、実は大学事情にもそれは反映しているのです。埼玉県民の多くは（特に東京に近い県南部は）東京を見て暮らし、東京にある大学への進学を考えがちです。そのため、埼玉県人口は700万人を超えているのに（群馬県の約4倍！）、国公立大は埼玉大（学部は5つで総合大学とはいえない）と埼玉県立大（1999年開学、保健医療福祉系）の2つしかありません。私立大も数は多いけれど、総じて小規模で入りやすい（つまり偏差値が低めな）大学が多いと言えるでしょう。そのような中で、越谷市にある文教大は小中学校の教員養成で名高く、草加市にある獨協大は外国語教育を特色としていて、坂戸市にある管理栄養士国家試験合格者数全国1位の女子栄養大には養護教諭資格を取得できる学科もあり、上尾市にある聖学院大は「面倒見のよい大学」で常に上位にランクされます。ちなみに、スポーツにも力を入れている東京国際大は東京ではなく川越市にある大学です。なお、立教大学は東京の池袋のイメージが大きいけれど観光・コミュニティ福祉・現代心理の3学部は埼玉県の新座市にある新座キャンパスです（東武東上線池袋まで20分ですが…）。

以下の文章は4年前（2016年）に私が埼玉大学説明会に行ったときのことを書いたものです。オープンキャンパスも今年はWebばかりなので、これで武州路の雰囲気を感じてください。

SAITAMA UNIVERSITY

### 埼玉大学に2年ぶりに行ってきました…

埼玉大学は群馬県から見ると大都会の「さいたま市」にあるワンキャンパスの大学だ

さて、この埼玉大（地元では「さいだい」と呼んでいます）は京浜東北線北浦和駅からバスで行きます。二度目なので迷うことなく「埼玉大学行き」のバスに乗車。前回このバスに乗ったときは「次は栄和北町～…このトンコツ臭は…あっ！ラーメン由宇松本だっ」などという田舎くさい停留所案内の放送に衝撃を受けましたが、今回は「浦和警察署では飲酒運転撲滅の運動をしています…」とか、「西武バスではテロ対策を強化中です…」とか、「自転車は早めに点灯しましょう…」などと、まるで田舎の有線放送みたいになっていました。こうしてよくしゃべる停留所案内を聞きながら15分後には埼玉大学到着です。

ところで、埼玉大学にはどんな学部があるのか知っていますか？ 教養・教育・経済・理・工の5学部です。群馬県の高校生にとって魅力的なのは文系であれば教養学部（国際関係・社会学・哲学・歴史・外国文化などが学べ、国語・社会・英語の教員免許が取得できます）、理系であれば理学部（数学・物理・化学・生命科学等が学べ、数学や理科の教員免許が取得できます）でしょうか。医学部がないので地味



埼玉大学正門を入るとバスロータリーがあり、その真ん中には黄緑色のモニュメントが建っている。後ろの建物の壁には、梶田さんのノーベル賞受賞を祝う垂れ幕が見える。

な感じはしますが、すべての学部が1つのキャンパスにあるのも魅力の一つ。そして入試上では理や工の後期定員が多いことが特徴です（だいたい前期後期が半々、学科によっては後期の方が多かったです）。

卒業生の案内で学生食堂へ行き、まず腹ごしらえをする

昼過ぎに到着した私を卒業生のY君がバス停で待っていてくれました。Y君とまず目指したのは学生食堂です。正門を入るとすぐ右側に学生会館があり（1Fにローソンが入っています）、その先に三年前にリニューアルした第2食堂があります。Y君に「オススメは何？」と聞くと、「期間限定のタコライスがおいしいですよ」との答え。そして「僕もいいですか？」と言うのでもちろんOKを出します。食堂はカフェテリア形式で代金はレジで払う方式です。Y君が「カレーライス大盛り」（345円）と「オクラのお浸し」（64円）を、一方、私はY君オススメの「タコライス」（中盛り、432円）に「オクラのお浸し」。二人分の合計905円をレジで払い、いよいよ昼食です…。うっ、この「タコライス」は美味！ 私が埼玉大生なら通年メニューにしてほしいくらいです。食べながらY君の学生生活について色々聞き出します。彼は大学からチャリ5分程度のアパートに東京の大学に通う弟と二人住まい。現在、大腸菌の保存方法についての研究に没頭しているらしく、大学院への進学意欲満々。ところで彼女はいるの？という私の問には「…」（否定はしなかった！）



キャンパス見学をし、リニューアルされた図書館には図々しく潜入する

食事の後はキャンパス見学です。埼玉大学構内の道路はすべて大きな街路樹に覆われており、さながら森林浴状態（この大学のスクールカラーが緑である理由がよく分かります）。図書館が昨年秋にリニューアルされたというので早速潜入。大学の図書館は部外者利用禁止なのですが、司書の熟女に「説明会に来た高校の教員ですが見学できますか？」と聞くと、あっさりOK。リニューアルされた大学図書館 中に入るとアクティブラーニング用に少人数で使うホワイトボード付の机があるスペースや、ゼミで使用できる小部屋など、新しい機能が追加されています。その後、各学部棟や体育施設などキャンパス全部を一通り案内してもらい、Y君と別れました。ありがとうY君、彼女によろしく！

説明会は何故かいつものとおり睡魔との格闘の場と化し…そして今回のお土産は？

今春リニューアルしたばかりの全学講義棟1号館でいよいよ説明会です。最初に学長の挨拶。その中で埼玉大学のビジョン「All in One Campus at 首都圏埼玉～多様性と融合の具現化～」について説明。フレーズの中にわざわざ「首都圏」と入れるところにいじらしさを感じてしまいます。世界大学ランキングでは600～800位の中に位置づけられ、日本の国立大で医学部がないのに800位以内なのは横浜国立大と埼玉大だけだと自慢しているのも、あはれなり。ただ、学内施設もリニューアルが進んでおり、また学生たちも真面目で、田舎から進学しても生活しやすそうな大学であることは保証します。学長の話は楽しめたのですが、その後に行われた「入試」「就職」についての話は、私を睡魔との格闘へと誘ったのでした。というわけで、私は格闘に忙しかつたので、これ以上の詳しい情報は是非自分で調べてください…。説明会の後、土産を購入するために第2食堂2階にある大学生協購買部へ。Y君に言わせると「メリンちゃんグッズが充実しています」とのことでしたが、確かに増えています。まず、メリンちゃんクリアファイル3枚入り（420円）をカミさん用にゲット。続いて、今回再訪を決意した最大の目的である鳳翔閣という名前の日本酒（埼玉大の研究成果を取り入れて地元の蔵元が作った）をレジとは別のカウンターで注文！。生協の熟女が「吟醸酒・純米酒・本醸造のどれにします？」と聞くので「どれが一番美味しいの？」と聞き返すと、カウンター内にいた他の熟女たちもやってきて、色々意見を言い始めます。結局、熟女たち一押し「純米酒」（1540円）を購入、二年越しの夢が叶った瞬間でした。息子への土産は今回ありません（彼はこの日修学旅行で京都へ向かったのです…。帰宅してから飲んだ鳳翔閣は最高でした！大学訪問、いとをかした）。



埼玉大のイメージキャラクター「メリンちゃん」